

## 教科書改ざんに対する抗議文

今や、教科書では、アジアへの「侵略」を「進出」と書き換えが強制されるなどの一連の改ざん、あるいは原爆の記事が抹消されるなど、憂うべき事態が起っています。これらの動きの背後には、過去の戦争を正当化するのみならず、今日の日本の軍事大国化をもまた正当化しようとする意図が隠されているのではないかと疑わざるを得ません。

私たちは、真実を覆い歴史をねつ造するこれらの試みを黙視することはできません。

私たちは、隣人の痛みを共に担うなかで歴史をきりひらきたいと願っています。ましてその痛みをひき起したのが私たち日本人であるのですからこの痛みから逃れることはできません。

子供たちがこれらの教科書で教育され、その目を覆われてしまうことは新しい時代を担う者たちの真実を見る眼を損なうことであって、アジアを踏みつけてきた私たちの誤ちを再び繰返えさせることになるのではないかと恐れます。

私たちは、真実なるものを真実だと告白しようとする志のゆえに、これに逆行する試みをどうしても許すことができません。次代の教育をいわゆる公教育に委ねがちであった誤ちを反省するとともに、私たちの教育のつとめへの決意を新たにし、かつ抗議の意を表します。

1982年 8月20日

日本バプテスト連盟

第36回年次総会